



ぐんまPTA広報

Gunma Parent Teacher Association Public relations

第112号
 平成29年10月1日
 -発行所-
 群馬県PTA連合会
 前橋市文京町2-20-22
 TEL 027-224-2816
<http://www.gunma-pta.net/>
 E-mail info@gunma-pta.net

岩村会長挨拶



平成二十九年「ぐんまPTA広報」第一二二号発行にあたり読者の皆さんに感謝して会長挨拶させていただきます。日頃から県PTA連合会の皆さんは、もちろん役員・理事そして事務局の皆さんに熱心に支えられながら今日に至っております。今年度も公益社団法人日本PTA全国協議理事ならびに関東ブロック協議会会長に群馬県PTA会長として出向しており、重責を全ういたします。

昭和二十四年十二月二十三日に県内十二郡市で発足した「群馬県PTA連絡協議会」に始まり、群馬県PTA連合会を経て現在の「群馬県PTA連合会」と改称されて、県内十九郡市（七郡十二市）の各PTA連合会・連絡協議会が構成されてきて、皆さんのご協力とご理解のもと創立六十八年の歴史を迎えます。県PTA連では、役員会・理事会（主に各郡市協議会長にて理事構成）、各専門委員会等を組織し連合会の企画運営を協議し、年四回開催される理事会に諮りながら定期総会で承認いただいた活動方針のもと事業を推進しております。

いよいよ、今年度開催いたします第四十九回関東ブロックPTA研究大会群馬大会は、開催決定した三年前からの開催準備・大会運営計画等に携わった県PTA連大会実行委員メンバーの絶え間ない協力の積み重ねが必ずや報われ、見事に大成功となることを確信しております。

第一日目は市内七会場

平成29年度 役員・理事等名簿

会長	岩村 隆志	前橋・上川淵小
副会長	高山 英記	伊勢崎・第二中
	竹内 一普	高崎・第一中
	鹿島 元幸	北群馬・吉岡中
	高松 美香	太田・生品中
常任理事	横倉 進	富岡・富岡小
	福田 貫明	富岡・富岡小
	星野 祝子	前橋・第五中
	横山 真一	藤岡・鬼石中
	奈良 一論	利根・水上中
	野村 和彦	館林・美園小
	藤塚 美里	前橋・荒子小
常任理事(県PTA大会)	増山 大祐	桐生・南小
常任理事(関東PTA)	神宮 嘉一	高崎・中尾中
	佐藤 貴雄	安中・安中小
	清水 久美	高崎・長野郷中
顧問	早川 毅	みどり

第31回 PTA広報紙コンクール 優秀賞

■小学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋	前橋市立天神小学校PTA	天神
前橋	前橋市立荒子小学校PTA	あらこ
伊勢崎	伊勢崎市立広瀬小学校PTA	ひろせ
高崎	高崎市立京ヶ島小学校PTA	PTA本部だより
藤岡	藤岡市立小野小学校PTA	トライアングル
太田	太田市立沢野中央小学校PTA	さわ風

■中学校の部

郡市	PTA名	広報紙名
前橋	前橋市立第五中学校PTA	五中PTA新聞
前橋	前橋市立大胡中学校PTA	梅檀
高崎	高崎市立新町中学校PTA	学校通信
太田	太田市立南中学校PTA	南の風

群馬県小中学生総合保障制度 (こども総合保険)

本制度の概要は県Pホームページをご覧ください。
<http://www.gunma-pta.net/>

お問い合わせ先

- ◆ご契約の内容照会・変更のお手続きなどは…◆
 取扱代理店：株式会社 アイ・エス・オー
 〒370-0852 高崎市申居町4-22-9 LSビル203
 ☎ 027-386-2600
 【受付時間：月～金 AM10:00～PM6:00】
- ◆事故の受付・保険金のご請求などについては…◆
 事故受付窓口：東京海上日動火災保険株式会社
 (フリーダイヤル)0120-119-110
 【受付時間：365日 24時間】

また、大会会場内では、震災や放射線に関するブースもあり、改めて震災を考えた機会となりました。震災から六年が経過し、震災後、東北にて初めて開催される大会ですが、いろいろな事を思い、考えさせられる大会となりました。



最後は、関ブロックPTA研究大会群馬大会のテーマ「伝統 自尊感情 自立した大人への架け橋」の国から、未来を自分らしく生かす子どもたちを育てるために、のようにな、歴史と伝統を支えられた自校の活動を見直しながら改善・充実・発展させることが、今年度、私たち群馬県PTA連合会のPTA活動の大切なひとつの事業であると思っております。



新役員紹介



祝辞 群馬県教育長 笠原 寛



群馬県参加者

「こ食」(孤食・個食・肉食・小食・粉食・濃食・五食)が社会問題となつている昨今、「こ食」の現状、課題とその解決策が議論されたり、地産池消・郷土料理の大切さを再認識するお話を拝聴しました。どれも前

引き続き、全体会開会式です。大会実行委員長の挨拶のなかでは、震災の体験に触れ、生きる事への感謝の思い、支援に対する感謝の思いが述べられていました。引き続き、次回開催地引継ぎ式が終了すると基調講演です。「オリンピックへの挑戦」という題目で、ウエイトリフティングの三宅義行・宏実親子の楽しい体験談を含んだ講演を拝聴しました。最後に大会宣言がなされ、盛大のうちに閉会しました。

引き続き、全体会開会式です。大会実行委員長の挨拶のなかでは、震災の体験に触れ、生きる事への感謝の思い、支援に対する感謝の思いが述べられていました。引き続き、次回開催地引継ぎ式が終了すると基調講演です。「オリンピックへの挑戦」という題目で、ウエイトリフティングの三宅義行・宏実親子の楽しい体験談を含んだ講演を拝聴しました。最後に大会宣言がなされ、盛大のうちに閉会しました。

定期総会 定期総会開催

群馬県PTA連合会 定期総会 盛大に開催!

六月二日(金)、群馬県生涯学習センター多目的ホールにて、平成二十九年群馬県PTA連合会定期総会が開催されました。

昨年に引き続き、「子どもたちのたくましく生きる力をはぐくむために、自ら学ぶPTA活動を推進しよう」というスローガンのもと、県内から各地区の代表や多くの会員が集結しました。

国歌、PTAの歌を全員で斉唱、岩村会長の挨拶から始まり、来賓の方々から祝辞を頂いた後、群馬県教育委員会から、「高

校教育改革の推進、「ぐんまの親の学びプログラム」について行政説明を頂きました。その後、群馬県PTA連合会会長表彰が行われ、団体表彰三十五団体、個人表彰三十三名が受賞されました。受賞者の皆さん、おめでとうございました!

また、広報紙コンクールの表彰も行われました。入賞校の皆さん、おめでとうございました! 来年の入賞へ向けて、より良い広報紙を作ってください!

成立確認が行われた後、高橋副会長が議長となり、平成二十八年度の事業報告並びに収支決算報告、監査報告が行われ、承認されました。

(文/横山真一)

次に、平成二十九年役員選考委員より報告があり、承認後、新役員が役員席に着きました。

その後、平成二十九年の基本方針・活動目標を会長提案とし、事業計画、会計予算、特別会計予算の他、今年度本県で開催される「関東ブロックPTA研究大会群馬大会」の開催についての議案が提案され、すべての議案が承認されました。

群馬大会大成功のために、皆さんの多大なるご協力をお願い致します!

そして最後に、群馬県PTA連合会に多大なご尽力を頂きました前任役員や理事への感謝状の贈呈を行い、定期総会のすべてが終了しました。

『日本PTA仙台大会に参加して』

広報委員会委員長 高山 英記

八月二十五日(金)二十六日(土)の二日間、杜の都・仙台に、全国各地から七千三百人が集い、第六十五回日本PTA全国研究大会仙台大会が盛大に開催されました。

群馬県PTA関係者も、五十一名もの多くの方々が参加してまいりました。

仙台地方は、この夏、天候不順で、我々が訪れた際には、降雨連続が三十六日におよび、観測史上二位、八十三年ぶりに記録更新するという記録的な長雨でした。そんな中、大会が始まると雨も上がり、全国から集ったPTAの皆さんの熱い思いが伝わったかの様に

晴れ間がのぞきました。この大会は、「つながろうPTA!子どもたちの輝く未来のために」杜の都発!みちのくの今を伝えたい感謝の思いと確かな歩みとともに「」を大会スローガンとし、PTA会員同士が繋がりをもつて子供たちを多く目にする事として、震災からの復興の姿を見てもらい、数多くの支援に感謝の気持ちを表すことを趣旨として大会が開催されました。

初日は、仙台市内の十会場に分かれて、分科会が開催されました。各分科会では、研究課題に迫り、基調講演・実践発表・パネルディスカッション等、活発な討議が行われ、有意義な時間を過ごしました。私が参加した第八分科会でも、「健康・安全」という研究テーマで、子どもたちの健全な心と身体を育む食を求めて、発表や質疑応答等、話し合われました。

二日目は、カメイアリーナ仙台にて、全体会が開催されました。伊達政宗の戦勝祈願の歌と舞、「さんさ時雨」が披露され、続いては小気味よいテンポ、躍動感溢れる身振り「仙台すずめ踊り」が披露され、会場を盛り上げ、場を温めてくれました。



仙台 すずめ踊り

南水 南小学校

はじめての役員... はじめのPTA役員をひき受け、文化教養部の部長をやらされて頂くことになりました。

本校のPTAは、本部と三つの部から成り立っています。通学路の清掃、放課後の防犯パトロールや奉仕作業といった学校や地域の安全や文化などの活動を行っている環境安全部。次に、親子で楽しむドッジボール大会や運動会など、体を動かす活動を行っている保健体育部。そして私の所属する文化教養部では学校新聞「南の窓」の年三回発行や講師をお招きしての子育てセミナーなどの行事があります。



校舎全景

て知ることが多く、みんなの意見を聞きまとめ、形にしていくことの大変さを少しずつ実感しています。

(文)吉田夕子

桐生市 神明小学校

学校生活応援団

神明小学校(児童数二百四十二)は昭和五十四年四月に設立された桐生市内で最も新しい小学校です。学校の南には茶臼山、北には渡良瀬川が流れており、自然豊かな環境です。平成二十五年に児童が考案したゆるキャラ「しんめちゃん」は様々な学校行事で活躍し、学校生活を盛り上げています。

PTAでは安全に児童が登校できるように毎朝大きな交差点で当番制による旗振り活動、普段の児童の清掃活動ではなかなか手が届かない箇所の校舎内外の清掃・除草活動、さらに運動会・持久走大会でのお手伝いなども実施し、学校生活の応援となる活動をしてまいります。



しんめちゃん

様々な活動を通じて地域の方々と協力しながら充実し、安全安心な学校生活を送れるように地域の教育環境の向上に努めてまいります。

(文)野村 篤

藤岡市 西中学校

地域で育てる子どもたち



中学生による小学校でのあいさつ運動

藤岡市では、小中一貫校というスタイルです。地域の人も児童、生徒も隔たりのない活動を目指しています。

西中学校の子どもは誰にでもよくあいさつをします。西中生徒が小学校の校門で、児童と手をタッチしながら朝のあいさつ運動。また、地域の大人も子どもたちに積極的にあいさつをして、子どもたちとコミュニケーションをとっています。

活動が当たり前のようになっているように思っています。他にも生徒と児童でいろいろな議題について意見を出し合う「西中連携型小中一貫校サミット」や、一年生で母校訪問という小中の交流も行っています。

こんな活動のおかげで本校の雰囲気は先生と生徒またその親たちと、とても明るく、楽しく、PTAの距離もとても近いように思えます。私たち親も学校に行くのが楽しみですが、「全てが順風満帆に」といえない時もあるでしょう。そんな時、PTAも困ったことがあるはずなのに相談、対処できるような努めています。

(文)関谷尚士

利根郡 川場中学校

生徒と共に取り組む「学校林手入れ作業」

川場村は、群馬県北東部、武尊山の南麓に位置し、森林面積は村土の八十三%を占めている中山間地域で、人口約三千五百人の小さな村です。川場村は、その豊かな森林を活用した林業振興が盛んな村でもあります。

「学校林」の活動内容は、年に二回学校行事として、五月に下草刈り作業、十月に防火線手入れ作業を行っています。この活動は、百年以上の歴史を有し、開始以来生徒とPTAの共同作業は、生徒が鎌や草かき等により、PTAが草刈り機等の機械により、半日を掛けて、除草作業等を行います。

近年は、生徒数の減少に伴い、保護者のみならず、PTA歴代正副会長会の方々と地域の方々の協力を得て、生徒と共に活動し、「学校林」手入れ作業を支えて頂いています。

この作業を通じて、生徒は、自然のふれあいや地域の方々への感謝、そして、愛郷心を育むことができるでしょう。今後本校の伝統ある「学校林」手入れ作業を継続していきたく思います。

(文)石田信幸

佐波郡 中央小学校

親子で楽しむPTA

本校は群馬県南部に位置する玉村町にあり、前橋市・高崎市・伊勢崎市・藤岡市の四市に囲まれ、北には利根川、南に鳥川があり、赤城、榛名、妙義山を一望でき水田の広がる自然豊かなところです。

当PTAでは子どもたちの健全な成長を図ることを目的に、学校・家庭・地域における教育に関して、親と教師が協力してPTA活動を積極的に行っていくことを活動方針としております。

各専門部は年間の事業計画を基に精力的に活動しており、本年度は劇団青い鳥シアター「大泥棒ホッツェンプロッツ」を教養部と学校の合同で開催しました。



「大泥棒ホッツェンプロッツ」

子どもたちと共に楽しい時間を過ごせていただけたように思います。子どもたちは目の前で演じられる本格的ミュージカルを見ることができ、心に残るとともに素敵な体験ができたことと思います。

(文)内田貴之

草津イatism 草津町は温泉やスキーで賑わう観光地です。そんな草津町の唯一の小学校が草津小です。様々な国や地域と文化交流が盛んな草津町ならではの開放的な雰囲気、スキーをはじめとするスポーツに対する関心の高さが特徴です。

学校の特色としては、冬場に校舎に隣接する「子天狗・孫天狗」という名のミニスキー場と天狗山スキー場で全校児童がスキー授業を実施しま

す。この授業は、本当に多くの方の協力が必要で、先生と高学年による整備から始まり、高学年による整備から始まり、やスポーツ等に参加しました。

「草津の人つてすごいよね」という「俺たちも同じようにしてらったからね」と口をそろえて言います。

客等、多くの大人に見守られ携わることで草津子は草津イatismを育み、成長していくように思います。

(文)市川祥史

「学校林」手入れ作業 学校林の手入れ作業の様子。生徒と保護者が協力して作業を行っています。

(文)柳沢博文



川学習におけるボート体験

邑楽郡 高島小学校

子どもたちが笑顔で多い学校生活を送れるように 東毛地区の邑楽町北部に位置する美しい田園と、緑に囲まれた本校は児童数二百名で構成されています。

この地域の米作りでは渡良瀬川の水を利用して行っています。本校の特色の一つは、三年生から六年生の渡良瀬川に関する川学習です。

が主役になり、体験したこと、学んだことをまとめ、このことは小学校生活の中で子どもたちにとって、貴重な成長の場となっています。

子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができ、また、青色パトロールでは、これまで交通指導員による月2回の実施のみでしたが、子どもたちが毎日安全に下校できるように、保護者全員で協力し、今年度九月よりパトロールの活動日を増やしました。

子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができ、また、青色パトロールでは、これまで交通指導員による月2回の実施のみでしたが、子どもたちが毎日安全に下校できるように、保護者全員で協力し、今年度九月よりパトロールの活動日を増やしました。

子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができ、また、青色パトロールでは、これまで交通指導員による月2回の実施のみでしたが、子どもたちが毎日安全に下校できるように、保護者全員で協力し、今年度九月よりパトロールの活動日を増やしました。

(文)関谷尚士

編集後記

8月25日、26日と日本PTA全国研究大会仙台大会に出かけ、雨の仙台から、カラッと晴れた前橋に戻りました。...

編集委員

- 高山 英記(伊勢崎・二中) 青山 謙二(邑楽・高島小) 横山 真一(藤岡・鬼石中) 野村 篤(桐生・神明小) 星野 祝子(前橋・第五中) 若狭 大介(太田・南小) 内田 貴之(玉村・中央小) 市川 祥史(吾妻・草津小) 柳沢 博文(藤岡・西中) 石田 信幸(利根・川場中) 山宮 敏夫(沼田・白沢中)

第49回 日本PTA関東ブロック研究大会群馬大会

日時:平成29年10月21日(土)・22日(日) 会場:高崎市音楽センター 他 スローガン:「伝統 自尊感情 自立した大人への架け橋 ~絹の国から 未来を自分らしく生き抜く子どもたちを育てるために~」

分科会 10/21(土) 7分科会高崎市各会場 「組織運営」「環境」「情報」「家庭教育」「健康・食育」「安心安全」「地域連携」 全体会 10/22(日) 群馬音楽センター 記念講演 講師:阿部 祐二氏(テレビポーター)

一般社団法人群馬県PTA安全互助会から

PTA安全互助会は、PTA活動中に傷害事故等に遭われた会員に共済金・見舞金の給付を行うなど、会員が安心してPTA活動に参加できるよう事業を実施しています。

お知らせ 紙面が今号から少し大きくなり、A3版になりました。今後とも読みやすい広報にしていきたいと思っております。